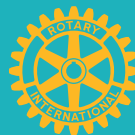




ロータリー：
変化をもたらす

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2017 ▶ 2018
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

親睦と奉仕で作る友の輪

会長／森 幹雄 幹事／阿部 洋一

プログラム

- 本日
来賓卓話「ルルロツソその後」
株式会社フタバ製麺 社長 仲田 隆彦様
- 次週予定
－法定休会－

- 会員誕生日
鈴木 康 伸
大 嶋 孝 広
- 結婚記念日
鶏 城 善 輝

No. 2757
第10回 9月13日

出席報告

前
例
会

会員総数	35名
出免会員	4名
出免出席	3名
基準会員出席	22名
出席率	73.53%

前
々
会

第7回 8月23日

欠席会員	10名
内メイクアップ	3名
修正出席率	80.00%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

- 8月31日に第3回定例理事会及び第2回クラブ協議会を開催しました。8月の会計報告と9月10日例会プログラム、地区大会スケジュール、あんどん決算を承認いたしました。
- 轡田ガバナー補佐より、次年度ガバナー補佐の推薦依頼の書面をいただきました。ガバナー補佐経験者による諮問委員会を設置し、委員には渡部会員、高田会員さんをお願いします。なお、私と阿部幹事が諮問委員会の書記としてお手伝いをいたします。ガバナー補佐推薦の締め切りは、9月25日となっております。
- 地区より道民の森植樹祭の案内が届いております。120万本の植樹という事で、9月9日当別町道民の森で開催されます。クラブよ

り福士会員、高田会員、堀会員、鶴城会員、西谷会員、燕会員、阿部会員、そして私の8名が参加します。

- 9月2日、留萌市青少年健全育成推進協議会創立50周年記念式典に出席して参りました。
- 地区事務局より、地区大会の参加締め切りを10日延長するとの連絡をいただきました。留萌クラブも参加者が少なく、欠席で出された方ももう一度ご検討いただきたく、大会参加も含めてよろしくご検討をお願いします。

👤 幹事報告

- ・深川RC、羽幌RCより8月会報と9月例会プログラムを受領しました。
- ・芦別RCより8月会報を受領しました。
- ・国立ガバナーより、公式訪問に対しての礼状

第9回 9月6日(水) 天候/晴

が届いております。

- 地区文献資料室より貸出リストが7年ぶりに改訂され、そのリストが2部送付されてきました。皆様に回覧いたします。
- 先週の例会でもお話いたしました、ポリオプラスのチラシが人数分届いております。内容は、世界ポリオディーのイベントライブ映像をネットで視聴できるというものです。今回で5回目となり、ビル&メリンダゲイツ財団との共催となっております。この機会にポリオについて考える良い機会になると思います。
- 地区大会の登録について報告致します。一昨日登録を締め切りましたが、結果は登録29名、内ご家族2名、出席は15名となっております。会長報告にもありましたが、10日間登録締め切りが伸びまして14日までとなっておりますので追加登録される方はご連絡ください。

委員会報告

会員研修委員会

榊井 委員長

9月13日(水)に新会員研修会を開催いたします。場所は蛇の目寿司さんで、午後6時30分より開始、会費1500円となっております。今回2回目の新会員研修会となりますが、一般会員の皆様もぜひ参加されて親睦を深められてはと思います。後ほどFAXにてご案内を流させていただきます。よろしくお願ひします。

3分間情報

会員研修委員会

高田 委員

本日、幹事より“ポリオのない社会実現のために”というチラシの配布の話がありましたが、今回はポリオのお話です。国際ロータリー元会長、GPEIロータリー代表のジョンF・ジャーム氏から安倍晋三内閣総理大臣あてに出された礼状がありますので、ご紹介いたします。

貴殿におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。先日6月12日、アトランタ(米国ジョージア州)でのロータリー国際大会

において、安倍首相閣下からの特別なビデオメッセージを賜り、身に余る光栄となりました。そのお言葉は力強く、聞く者の心に残るものとなりました。また、貴殿の代理となる貴国代表者の方にお越しいただきましたことに、大会に出席したロータリアン、並びにGPEI(世界ポリオ撲滅推進活動)パートナー団体代表者と主要政府関係者に代わり、心より感謝申し上げます。

貴殿には、国際ロータリーの活動及びポリオ撲滅活動という共通の目標に対する貴国政府からの継続支援についてご発表いただき、当方一同大変感激致しました。ナイジェリアとチャド湖周辺地域のポリオ撲滅活動に対する貴国からの3330万ドルの支援を含め、この世界的な取り組みにおける貴国との長期パートナーシップは、深い感謝に値するものです。120万人のロータリアンもまた、ポリオ撲滅に全力で取り組み、撲滅によって世界に末永い恩恵を生み出す決意を固くしております。ポリオ撲滅活動において貴国と協力することには多大な意義があり、グローバル社会が直面する他の課題においても、模範的な協力の例となります。

ポリオ撲滅活動に象徴される世界レベルの連帯は、ほかに類を見ない継続的な真のグローバルパートナーシップであり、ロータリアンと主要関係者の心に大きな希望と意欲を残すものとなりました。ロータリー国際大会から今日までの短期間に1件の新たなポリオ発症がアフガニスタンで確認され、今年度の発症数は世界全体で6件となりましたが、昨年同時期における発症数と比べると、およそ3分の1となっております。ここで留意すべきは、これまでの前進と協力を高く評価しつつ、現状に満足することなく、ポリオ完全撲滅に向けてさらに歩みを早めなければならないということです。これにつきましては、来る7月のG20サミットで各国首脳と協議される際、ポリオ撲滅の機会、並びに今後の疾病予防対策のためにポリオ撲滅で築かれたインフラを活用していくことをG20首脳声明に盛り込むことにより、貴国からの引き続きのご支援を衷心よりお願い申し上げます。

国際ロータリーに対する安倍首相閣下のご支援に、心から感謝申し上げます。貴殿のようなリーダーのポジションとご尽力がなければ、ポリオ撲滅活動をここまで前進させることは出来ませんでした。近い将来、ポリオのない世界の実現を共に喜びあえることを願っております。

この様にジャーム氏は、日本との長期パートナーシップに感謝するとともに、ポリオ撲滅活動において日本と協力することには多大な意義があり、グローバル社会が直面する他の課題においても、模範的な協力の例となりますと、述べています。以上です。

ニコニコBOX

- 渡部整形さんでバネ指の手術をして1ヶ月になります。すこぶる快調に過ごしております。ありがとうございます。 森(幹)会長
- 目まぐるしい日々の中にも幸せがちよこちよこありました。 燕会員
- 我が生い立ち、頑張ります。 照井会員
- 我が生い立ちの機会をいただきましてありがとうございます。 松岡会員
- 我が生い立ちご苦労様です。 鵜城会員

前 回	271,000円
今 回	10,000円
累 計	<u>281,000円</u>

プログラム

会員卓話「我が生い立ち」

松岡 賢一 会員

今年7月に入会させて頂きました、留萌信用金庫の松岡でございます。

この度は「我が生い立ち」ということで貴重な機会を頂き誠にありがとうございます。仕事柄、お客様の前でお話をすることはありましたが、考えてみれば自分の生い立ちについて、人様の前で話すなどという場面はありませんでしたので、今回この機会を頂いてあらためて自分を振り返る良いきっかけになりました。

特別なエピソードがある訳ではありませんが、これを機に私のことを少しでも知って頂ければと思いますので、宜しく願いいたします。

私は昭和30年12月25日クリスマスに松岡家の長男として、赤平市茂尻という炭鉱の街で生まれました。父は炭鉱夫でした。妹と弟の3人兄弟で母は専業主婦でした。賢一という名前は、読んで字のごとく一番賢くなるようにと考えてつけたらしいのですが、残念ながら親の期待通りにはいかずに、今に至ってしまいました。

茂尻小学校のころは、野球をやったり、近所の山や川で暗くなるまで飛び回る日々だったと記憶しています。

昭和42年4月、6年生の時に旭川に移住、前の年に炭鉱で落盤事故があり、父の友人も亡くなったことから思い切って炭鉱を辞める決断をしたようです。辞めた2年後には、また30名以上の死者を出す炭塵爆発があり、それをきっかけに炭鉱自体が閉山となり、同級生が皆バラバラになりました。

旭川へ移住した年、37歳だった父は大工になりました。37歳の転職というのはかなりきついことだったと思います。今はもう亡くなっておりますが、家族のために70歳過ぎまで頑張っていていた父を誇りに思っています。

転校した旭川豊岡小学校でも野球に明け暮れましたが、光陽中学校に進むとバスケット部へ入部、そして進学した旭川西高校でもバスケット部に入部、6年間バスケットボール一筋の学生生活でした。当時の旭川西高校は、たいへん強いチームで旭川では負けたことはほとんどなく、北海道でも常に上位で3年生の時は全道2位となりました。私はキャプテンでしたが、何せこの身長ですからフル出場のレギュラーと言うわけには行かず、出たり入ったりの選手でしたが、三重県の津市で行われたインターハイの全国大会に出場したことは、私の高校時代の一番の良い思い出であります。

インターハイ・国体が終わると、急になにもしることがなくなり、友達とマージャン三昧の生活が始まり、また、フォークの吉田拓郎にのめりこみ、曲を聴きまくり、ギターを練習した

第9回 9月6日(水) 天候/晴

りコンサートを見たりしていました。今も、大ファンであります。

進学校でありましたが、成績は下から数えた方が早く、バスケットしかやってこなかった私は、将来について漠然と体育の先生になりたいとの思いから国立の教育大学を受験しましたがあえなく失敗。

下に兄弟がいることから予備校に行かせてくれとも言えず、自宅浪人生活となりました。この自宅浪人生活が私の人生を変える大きなターニングポイントとなりました。もともと勉強が好きではなかったのも、家でぶらぶらしていてもしょうがないとアルバイトを始めました。

最初、2ヶ月間酒屋さんでアルバイト、その後友人の紹介で旭川の富貴堂という本屋さんに勤めることになりました。買い物公園にあった5条通りの店で店番と近所の喫茶店や食堂への雑誌の配達が主な仕事でした。

その年、昭和49年10月14日に巨人軍の長嶋茂雄が引退し、引退セレモニーが行われました。この頃、各出版社から長嶋茂雄に関する多くの本が発売されました。長嶋の人気というものは相当なもので、長島の本はいつも仕入れすれば即完売という状況でした。たいへん忙しかったのですが、本がどんどん売れる状況を目にして、はじめて仕事が楽しいと思った瞬間でもありました。仕事をして収入を得るということにすっかり染まってしまった私は、もうその時点で進学気持ちはなくなっていました。当時の富貴堂の社長から「このまま富貴堂で正社員として働かないか」と言われ、相当悩みましたが単純に日曜日が休みでないという理由でお断りをいたしました。そして、西高時代の担任の先生が就職担当だったことから、先生を訪ね、就職の世話をお願いしました。

しかし、新卒でない私は、なかなか就職試験を受けさせてもらうことさえ出来ない状況が続く、唯一試験を受けさせてもらったのが留萌信用金庫でした。

そして、昭和50年3月に留萌信用金庫に入庫、羽幌支店勤務でスタートいたしました。翌年、旭川北支店に転勤、その後旭川支店、旭川東支

店、また旭川支店と3ヶ店で主に融資畑で通算28年間旭川地区での勤務が続きました。

中学・高校時代熱中していたバスケットボールは、社会人チームでも続けておりましたが昭和51年左足、昭和55年右足のアキレス腱断裂により幕を閉じました。今は、ゴルフにはまっております。

昭和56年4月に金庫に同期で入庫した妻と職場結婚したのですが、その年の12月に病気になり入院、一旦は回復しましたが、その後再発等で闘病生活は長期に亘りました。さらにその後、これまでに2回の手術や入院生活があり妻にはたいへんな苦勞をかけました。今でも頭が上がりません。病気のせいもあって、子供には恵まれませんでした。結婚して36年、今は親の介護に振り回されながらも、まあまあ仲良くやっていると自覚しています。

信用金庫での思い出もたくさんありますが、ひとつだけあげるとすれば、旭川の永山にあるパワーズという商業施設の建設に金融機関の担当者として最初から最後まで携わったことです。ご存じの方も多いと思いますが、旭川ラーメン村がある商業施設です。今でも駐車場に車が一杯になっている様子や、海外からの観光客が訪れている様子を見ると、とてもうれしくなります。今は亡くなられた社長さんが、会うたびに「パワーズは松岡さんに作ってもらったものだから」と言って頂いたことは私の大切な思い出でなっています。

旭川勤務後、4年間の札幌勤務、1年間の増毛勤務を経て、平成21年、ようやく金庫に入って35年経って初めての留萌暮らしが始まりました。多くの職員が居る中で、55歳まで留萌の勤務経験がないというのは私くらいですが、本部で地域貢献に関わる仕事に携わった関係で、金融の仕事以外でも多くの皆様とふれあう機会がありました。そして今年、留萌ロータリークラブに入会し皆様と交流をさせて頂く機会をいただきました。

信用金庫のキャッチフレーズに「ご縁と円を大切に」という言葉があります。これからも、仕事やロータリー活動を通じて皆様とふれあい、

ご縁を大切に、地域に少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

以上、拙い話で恐縮ではありますが、私の生い立ちについてお話をさせていただきました。本日はご静聴ありがとうございました。

西原 正幸会員

今回、我が生い立ちという演題でお話をしてくださいという依頼があり、まだまだ諸先輩方から見れば若輩者の私ですが、振り返ってみると3回ほど人生の節目があったように思います。今回は、その節目を中心に話したいと思えます。

私は昭和35年4月11日、北見市において小学校教諭である父と専業主婦である母のもと、長男として誕生しました。小学校・中学校時代は今のようゲーム機などないので外で遊び、野球と自転車と虫が好きなお子だったと思います。

1回目の節目は高校入試でした。幸い学校での成績が良かったので、学区外の札幌の高校を受けてみてはどうかと担任に言われて、家族と相談してその方向で行くことになりました。しかし、当時5%しか学区外から入れないため、滑り止めに函館ラサール高校も受けることになりました。私立高校ですので、入試は確か1月だったと思います。入試試験はけっこう難しく、全然できなくて落ち込んでいたところ、結果はなんと合格通知でした。公立高校の受験日の前に入学願書の提出、入学金の納付を求められ、再度担任と家族との相談をして函館ラサール高校に入学することに決まりました。もちろん自分は全く蚊帳の外だったような感じでした。

函館ラサール高校に入学してまず、学生の約3分の2は寮生となります。1年目は集団生活で50~60人が大部屋に入れられ、2段ベッドでの生活です。プライバシーなどは全くなく、一部の生徒はホームシックになって退寮することもあるサバイバル的な生活だったと思います。2・3年になると4人で1グループを作り個室が与えられ、1年よりはだいぶましな生活となりますが、なにせ親から離れた高校生ですから

いろいろやんちゃをした記憶があります。しかし、今から考えるとその時の経験は現在の自分の生き方の原点を形成したじきでもあったとおもいます。

2回目の節目は大学入試でした。実は私、共通一次試験の一期生なのです。今までの入試と全く異なりマークシート方式で先が全く読めず、ほとんどの人は自分の成績より1・2ランク下げた大学を受験する状態でした。私は電子工学専攻で入試を受けようと思っていましたが、進路指導の先生からはもっと志望校のランクを下げなさいと言われましたが、納得がいかず浪人してでも希望大学を受けるとなれば喧嘩した思い出があります。そこで、親に相談して浪人するため予備校の入試を受け（浪人するのも試験があるのです）、アパートも探し準備万端で、まずは共通一次試験を受けてみると、なんとこのほか点数がよく、医学部合格ラインに到達。そこで家族相談となり、親としては当然医学部のほうを進めるわけで逆らうわけにいかず、どうせだめだろう的な気分で旭川医大を受験したのですが、ふたを開けてみたら合格通知が来ていたわけです。電子工学希望が医学部に変わった瞬間でした。

3回目の節目はやはり開業の決断です。旭川医大卒業後、先輩に騙されて泌尿器科に入局し、医局人事で地方の病院勤務を続け、その間に結婚し1女1男を授かり、遠軽厚生病院でこのまま定年を迎えるつもりでいたところ、義理の父である渡部先生から“留萌に泌尿器科がなくなったのでこっちに来ないか”と誘われました。留萌市立病院で泌尿器科一人勤務はかなり厳しい状態が予想され、その時はお断りしました。しかしその後、妻から子供の進学のため札幌での生活を提案され、いろいろ悩んだ結果、札幌での勤務医という選択もありましたが、定年のない開業が良いのではないかという結論となり、留萌での開業となったわけでありました。

開業して今年で丸5年が経過し、留萌ロータリークラブに入会し、今日ここでお話をしているわけです。なんだかかなり運に恵まれたような感じが否めません。これからも微力ながら留

第9回 9月6日(水) 天候/晴

萌地域医療に貢献していきたいと思ひますし、さらに留萌ロータリークラブの会員の皆様の健康管理を務めていきたいと思ひています。

ありがとうございました。

照井 満会員

今年7月に入会させていただきました、留萌リースの照井です。本日、我が生い立ちという事でお話をさせていただきます。

私は、昭和47年5月30日生まれの今年45歳になります。名前の満の由来は「松岡満」マツオカマンからとったそうです。5歳の時自宅のある南町に引っ越しまして、緑丘小学校、留萌中学校、留萌工業高校に通っておりました。小学校時代は野球部で野球をしていたのですが、骨折が多く、尾てい骨、頭蓋骨、指、足等を骨折しまして、ほとんど試合には出ておりません。留萌中学校時代は帰宅部で、主に友達と麻雀ばかりやっておりました。ほとんど勉強もせず、高校受験の前日も友達4人でテツマンして受験に行きました。そんな私でも10番以内に入れる所でした。高校時代はバトミントン部に所属していましたが、部活の練習にはほとんど行かず、ルールさえあまり覚えておりません。試合も一度も勝った事はありませんでした。

高校を卒業して、札幌の会社に就職したのですが1年で会社を辞め、親にも何も言わず横浜に行きまして、そこで働いた会社が原子力発電の定期検査をする会社で、日本中を転々としまして、最後は沖縄で働いておりました。沖縄に居た時に浦添市の発電所でしたが、きれいな海にエンゼルフィッシュがおりまして、その魚をすくって遊んでいた時に管理人のおじさんに頭を思いっきりどつかれた事を今でも時々思い出します。

平成5年、親からの帰郷命令で強制的に留萌まで連れて帰られ、共成レンテムという会社に入社しました。留萌リースはその時のお客様でして、留萌リースの社長にかわいがられて、うちの会社に来ないかと誘われ、平成7年3月に留萌リースに入社しました。平成10年に結婚をして、現在大学1年の息子と高校1年の娘がお

ります。平成25年10月に留萌リースの社長に就任させていただき、現在に至ります。留萌ロータリークラブに入会させていただきましたが、これからは皆様のご指導を仰ぎながら頑張ってお参りたいと思っております。よろしくお願ひします。